

山形の「食・農業」

山形といえばさくらんぼ。お米などの特産品、漬物やしそ巻きなどの郷土料理もたくさんある。【村山】

山形の誇れる良さはブランド化された農作物。肉であれば米沢牛や山形牛とすぐに思い浮かぶ。また、お酒も有名で、誇れる良さだ思う。

私はお酒が好きなので、欲しいお酒があればお店を回るのが楽しみ方の一つ。【村山】

最上地域の山菜特にワラビを他の地域や県外から食べてもらおうと、「味が違う。美味しい。」と言われる。私自身も県外から嫁いできたが、最上地域のワラビを食べてとても美味しいと感じた。雪がたくさんあっても、春になると山菜が出て山菜採りができるため、春になることを楽しみにしている。

また、雪がたくさん降ることがプラスに働き、山菜以外の米・野菜・果物なども、とても美味しくなっていると感じている。【最上】

長年、ハンガリーとの国際交流に携わっているが、交流をきっかけにパプリカ栽培に取り組んだ結果、遊佐町は日本でも有数のパプリカの産地となった。

山形県の農業は、内陸は果樹、庄内は米を中心にしっかりと土台が出来ており、本当に良いところで育っている。【庄内】

山形の良さは、自然の豊かさと地産地消の美味しい食材が多いこと。

普通に手に入る米や野菜の何事にも代えがたい美味しさや、稲刈り前の黄金色の庄内平野などは他県に誇れるもの。

【庄内】

山形県の県花「紅花」は、時期は短いがとてもきれいな花が咲く。紅花を題材にした食もでき、口紅や染物といった染料や装飾品としても使え、1つの花でいろいろなことができる素晴らしい花。知れば知るほど奥が深い花なので、どんどん魅力を発信していきたい。【村山】

山形県に住んでいる人は当たり前になっていて、幸せだと感じないままに生活している人が多いのかもしれないが、採れたての美味しいものを孫たちに食べさせられることは、とても幸せなことだと感じている。

【庄内】

山形の「自然①」

山形といえば、四季折々で楽しめる雄大な自然や蔵王・山寺などの風景。果樹王国でもあり、「おいしい山形空港」「おいしい庄内空港」という名前はピッタリだと思う。【村山】

山形の良さは、四季がはっきりしているところ。夏は暑く、冬は雪が多い、暮らすには大変な環境だと思われがちだが、自然の厳しさが食べ物を美味しくしてくれると思っている。また、春の花や秋の紅葉を通して自然の移り変わりを感ずることができ、心が癒される。

【置賜】

山形の良さは自然が豊かなところ。私が幼い頃は、当たり前前に近所の里山に入り、山菜採りやきのこ採りを行って自然からの恵みをもらい生活していた。

しかし現在は、人、特に若者が山に入ることが激減しており、管理が行き届かなくなった里山には、害獣や自然災害の被害が増えている。山に一人でも多くの人が入るようになれば、愛着がわき、関心が生まれ、再び山の力を利用しながら暮らすことができるようになるのではないだろうか。【置賜】

秋田県と山形県の県境に位置している甑（こしき）山には、男甑（おこしき）山・女甑（めこしき）山の2つがある。女甑山の麓一面はブナ林となっており、そのブナ林には林野庁の「森の巨人たち百選」に選定された推定樹齢1,000年の大カツラがある。

その他にも「里の名水・やまがた百選」に選定された大清水（おおすず）や、昨年デビューしたブランド杉の前森スギもあり、登山やトレッキングの場所として好評を得ている。

話を聞くだけではなく、体全体で聞く・感じるといった体験を実際にして、自然の有難さ・良さ・大切さを体感することが大事だと考えているので、是非お越しいただき、自然の豊かさに触れてみていただきたい。【最上】

山形の「自然②」

山形の誇れる良さは豊かな自然だと考えている。金峰少年自然の家での経験から、長期キャンプなど学校では学べない非日常的な体験をすることで子どもは成長すると感じている。自然体験に参加した子どもたちは、達成感と自信に満ちた表情になっていた。

地域の豊かな自然も体験しないとその良さは実感できないので、多くの方が体験に臨まれることが理想だと考えている。【庄内】

最上小国川で獲れる松原鮎は全国に誇れるもの。天皇陛下に献上したこともあるほか、県外の方から「香りが全然違って、美味しい。」という感想もいただいている。

また、最上小国川での鮎釣りは全国でも有名。鮎釣りの時期になると県外ナンバーの車も多く駐車しており、最上小国川が鮎釣りで賑わっている。鮎釣りする方は旅館へ宿泊するなど、商業観光にも繋がっており、綺麗な川、利用者向けの施設整備などの保全や、より利用しやすいように維持していくことが大切。【最上】

高畠町には川や森など、これからも大切にしていかなければならない豊かな自然が存在しており、それらを子どもたちに伝えていくことが重要であると考えている。

実際に自分の活動の中では、町内の森と川のマップを作ったり、子どもを対象とした登山を行ったりしており、今は、常に子どもたちが散策できるような場所を作ることに取り組んでいる。

今後もこれらの活動を通して、故郷や自然の大切さを伝えていきたい。【置賜】

地域の環境保全活動に携わり、子どもや大人が地域一体となった清掃活動などに長年取り組んでいる。その結果、河川がきれいになることで生物の数が増え、小学校の総合学習でざっこしめ（魚とり）を行うように変わっていった。

このような地域活動での体験を通して、地域の若者や大人の故郷を想う心を育み、故郷に親しみと誇りを持つことができると感じている。【庄内】

山形の「観光」

山形の良さは温泉と食。温泉が好きで日帰り温泉によく行く。

山形ほど安い料金で入れるところは他になく、他県に行ってもワンコイン以下で入れるところはなかなかないので嬉しい。【村山】

山形県はどこに行っても、良い温泉があり、どこで何を食べても間違いない。そのため、県外の方をどこの市町村に連れて行っても喜ばれる。【最上】

温泉が大好き。県内全35市町村に温泉があり、これまでに17か所に行った。ぜひ全市町村を制覇したい。

また、温泉に行くと笹巻きなどの地域の特産品がたくさん置いてあり、それを見るのも楽しみ。【村山】

山形県民はとても温かい人情を持っていると感じている。農家民宿を経営しており、コロナ禍をきっかけにお客様と接触しない接客形態になっているが、山形県が誇る温かい人情を活かして、本当の家族が送り出すような親密感のあるおもてなしをしていくことで、より多くの人に「山形県は素晴らしかった」と言ってもらえるようにしていきたい。【庄内】

自然の豊かさ、それを生かした観光資源の多さ、加えて食の豊かさが山形の良さだと思う。県外から観光客も満足できるようなレベルの観光サービスを目指してほしい。【置賜】

山形県は果物の宝庫。それを生かして天童市ではラ・フランスマラソン、東根市ではさくらんぼマラソンが行われている。こうした地域を盛り上げられるイベントを地域ごとにできれば、山形県の良さを他所から来た人に伝えられると思う。【村山】

置賜地域は、四季折々の花が咲く公園や上杉文化等の多様な歴史文化、朝日飯豊吾妻の山岳風景など、一年を通してとても魅力のある場所。また、豊富な農産物やおいしいお酒など食べ物も充実している。

そこで私は、県外から来られる人たちに「ぜひ山形への移住をおすすめします！」と声をかけている。この取組みは山形県民全員で行ってほしいと考えているが、他人に勧めるにはまず、自分自身が山形の歴史や文化を学んで知識を増やし、山形を好きになることが大切。【置賜】

山形の「文化」

昔から伝えられてきた山形の伝統食や精進料理は、母親の作る姿を見たり聞いたりして伝わってきたが、最近では核家族が増えてきており、若い人には意識していないと伝わらず、なくなってしまうのだろうかと思っている。

そのような食べ物を思い出していただけるように活動していきたい。【村山】

文化芸術関係では山形美術館や山形国際ドキュメンタリー映画祭、スポーツ関係では山形ワイヴァンズやモンテディオ山形等、その他冷やしラーメンや冷やしシャンプー等の「冷やしの文化」、米沢の垣根や雑草「ひょう」を食べる文化も山形の誇れる良さだと思う。【村山】

東北初のプロ・オーケストラとして誕生した山形交響楽団など、山形県の魅力は様々あるため、積極的に情報を発信していくと良いと考えている。【庄内】

舟形町では令和5年に、「ふながた若鮎まつり」は40回目、「若あゆ温泉」は30周年、東京都港区との交流会も50年目を迎え、令和6年には舟形町町制施行70周年の節目を迎える。

これらは昔から現在、そして未来への様々な文化の伝承、農工商業の世代交代がうまくいっているからこそ繋いでいけていることであり、それができていることは、山形県民の人柄によるものだと思う。【最上】

山形は継承されている地域のお祭りやイベントが多々ある。花笠まつり、上杉まつり、新庄まつり、徳内まつりといったお祭りがあるが、特に日本一となった山形市の芋煮会は誇れる素晴らしいイベントだと思う。【村山】

羽黒山の宿坊に泊まり、ご祈祷や精進料理を体験した様子をフェイスブックに載せたところ、海外の方が非常に興味を持ったようで、具体的な場所等の問い合わせがあった。【村山】

山形の誇れる良さは、ずばり“図書館”。県内の図書館は、それぞれの特色を生かした取り組みをしており、子どもの学習会やボランティア活動や利用者の作品展示など、参加型の活動もある。加えて、専門的な調査から日々の生活に関する相談まで、幅広く対応している。

図書館は“本を読む場所”と思われがちだが、“やりたいを叶えることができる場”、“新たな生きがいを得られる場”、“賑わい交流できる場”でもある。【置賜】

山形の「くらし・人とのつながり①」

私が携わっている取組みの1つに、学生・行政・企業・NPOなど様々な方が参加し、多様な地域課題の解決に向けて学び合いながらワークショップなどを行っている事業があり、学生が運営委員会を立ち上げるケースは他では見られないという評価をいただいている。

参加者が対等な関係となってつながる場があることが地域の誇れる良さであり、楽しみ方である。
【庄内】

「コミュニティスクール」の考え方のもと、地域のお年寄りの方が授業や学校行事、給食や掃除のボランティア等に参加している。子どもたちと関わるのがお年寄りの生きがい、地域の活性化につながっており、学校を中心とした地域がつくられている。

【村山】

趣味のサイクリングを楽しんでおり、各地域の自転車のイベントに参加している。山形は自治体、民間団体、ボランティアの皆様が一緒になって開催しており、県内外のサイクリストやその家族に対してのおもてなしが素晴らしい。イベントでは各地域の特産品が楽しめる。これこそ山形県が誇れる「おもてなし」の精神だと思う。

イベントを通し、県内外の人が山形の魅力を新発見・堪能することができる。【村山】

山形は食べ物がおいしく、温泉がたくさんあり、四季がはっきりしている。旅行が好きでいろいろなところに行くが、山形に帰ってくると山形の良さを実感する。

日本中どこに行っても美味しいものや綺麗な景色はあるが、やはり山形県は良いところがたくさんあり、山形県に住んでよかったと思う。【村山】

長年、農業に従事してきた中で、地域の直売所で毎日皆さんに新鮮で美味しい野菜を提供出来ること、また、お客さんから「美味しかったよ」と笑顔で言われることが1番の楽しみ。【庄内】

山形は物価が安く災害が少ない。地域ごとに祭りや行事があり、みんなが参加できるような地域になっている。こんな素晴らしいところは他にはないと思うため、幸せを感じている。

山形を知れば知るほど、もっと良くしていきたいと思う。【村山】

横浜市から移住してきたが、都会と比較して山形県での暮らしの方が便利な点が様々ある。

都会は人口が多く、また首都圏では高齢者人口が急激に増加する等、山形県とはまた別の高齢化の問題があり、コロナ禍において医療や福祉の現場が逼迫したり、ワクチン接種などの行政サービスが行き届かなかったりした。都会は何もかも便利で快適なわけではないため、地元の良さや生活の便利さをよく見て考えることが大切。【庄内】

山形の「くらし・人とのつながり②」

山形は待機児童がない等、子育て支援が充実している。

天童市の長岡地域では「りんごっこ」という親子サロン活動を通し、他所から来たお母さんや子どもが孤立しないように、地域との関わりを持てるようにしている。お母さんたちを少しでも楽にしてあげたい、もっと子育てをやすくしてあげたいという思いで活動をしている。【村山】

山形県民の「お互い様」という精神が、山形の誇れる良さであると考えている。子ども食堂を運営しているが、農産物を提供いただいたり、運営に協力いただいたり、地域の方々からモノと心の両面で支えていただいていると感じている。

こうした地域との関わりを持ちながら、子ども食堂においても私たちスタッフが子どもたちに元気を与えるだけでなく、子どもたちからも元気をもらう、そうした「お互い様」の関係によって、自分が必要とされていることや、自分が誰かの役に立っているという喜びが、生きていく上での本当の楽しみ方だと感じている。【庄内】

金山町の下野明地区では「明日を語るお茶の会」として毎月1回、70～80歳くらいの方が集まって、話し合いや安否確認のほか、金山町から協力いただき、健康や食事などの話をしていただいている。この会を楽しみにしている方が多く、お互いの励みにもなっており、定期的集まる機会があることは重要なことだと思っている。

これからますます高齢化が進む中で、行政や介護施設のサービスだけに頼るだけではなく、地区の中で人同士で助け合い・支え合うことが大事になってくるため、このような小さな取組みを長く続けていきたい。【最上】

大蔵村の肘折地区の「えんがわサロン」というふれあいサロンの運営に携わっている。サロンには高齢者だけではなく、保育園児をはじめ地域の皆さんや、肘折温泉に宿泊しているお客さんなどからも参加いただいている。活動にあたっては花植えやアイロンビーズ、手軽なスポーツなど、楽しんでほしい・少しでも体を動かしてもらいたいと、色々なアイデアを出し合っている。

そのほか、地区で健康体操などの巡回指導もしている。終わった後には「面白かった、たまに体を動かすのもいいな」などのお声をいただき、とても嬉しく思っている。

【最上】